

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和7年11月6日（木） 午後0時50分～午後5時20分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、情報通信部長、警備部統括参事官兼公安課長、監察課長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第4 委員説示

委員から、「愛知県名古屋市で20年以上前に発生し、未解決となっていた殺人事件の被疑者が逮捕されたというニュースを拝見した。報道によると、これまで愛知県警察が事情聴取してきた人物を中心に、再聴取やDNAの提出を依頼するなどの捜査を行っていたところ、被疑者が出頭してきたとのことであった。通常、事件の捜査は、時間の経過とともに真相の究明が困難を極めるが、今回の被疑者の逮捕は、正に警察による執念の捜査の結果だと思う。平成22年施行の改正刑事訴訟法により殺人罪等の公訴時効が廃止となり、今回のように、長年、未解決だった重要犯罪が解決することは、未だ解決に至っていない事件の被害者遺族等にとっても希望になっただろうし、警察全体にとっても、活力が湧き上ってきたのではないかと思う」旨の発言があった。

第5 報告事項

令和7年度上半期における監察実施結果について

県警察から、対象所属に対する業務監察及び服務監察を実施した結果、一部指導事項があつたもののおおむね良好であった旨の報告があつた。

委員から、「監察実施結果を確認したところ、簿冊の作成漏れや記載漏れによる指導が多いように思った。特に重要な書類等については、ダブ

ルチェックを行うなど、チェック体制の見直しが必要なのではないかと感じた。また、警察が取り扱う資料や事件記録等は膨大な量だと思うので、定期的に不要になった資料等を廃棄するなどの文書の適正管理にも留意していただきたい」、「職員の指導・支援の一環として、警察署長が署員を署長室に招いて面談を実施するなど、よりきめ細かな身上把握に努めている警察署もあったとのことであるが、職員の中には、なかなか本音を言えない人もいると思うので、署長自らがこのような機会を設けることは非常に良い取組だと思う」、「監察実施結果を拝見したところ、以前に比べて、「特に良好・他所属に紹介できる好事例」とともに「指導」としてチェックされた項目が多くなった。これは、警察内部でこれまで以上に、細かいところまでしっかりと監察が行えている表れだと思う」旨の発言があった。

第6 決裁

- 1 公安委員会宛て苦情受理報告について
- 2 公安委員会定例会議会議録の作成及び公表について
(令和7年9月25日開催分)

第7 その他

- 1 中国四国管区内公安委員会連絡会議の開催結果について
委員から、令和7年10月27日（月）に開催された「中国四国管区内公安委員会連絡会議」の結果について伝達があった。
- 2 今後の取組等について
県警察から、「ここ数日、愛知県警察が平成11年に発生した殺人事件の被疑者を逮捕したというニュースが取り上げられている。事件発生から時間は経過しているが、捜査員が一つ一つの捜査を丁寧に粘り強く行った結果が被疑者の逮捕につながったのだと思う。当県でも3件の未解決重要事件があり、引き続き、事件解決に向けて取り組んでいく」、また、「警察官の採用募集活動については、全国的に受験者数が減少しており、組織を挙げて取り組まなければならない喫緊の課題となっている。一昔前は、「世の為人の為の仕事」が警察の魅力だったが、これからは、「福利厚生がしっかりしている。給料が安定している。自分自身が成長できる。」等の点も警察のアピールポイントとして発信方法も含め、改めて部内で採用戦略について検討していく」旨の報告があった。
- 3 「犯罪被害者月間」について
県警察から、国民の理解増進のための取組の強化として、今年度から、

犯罪被害者週間（11/25～12/1）を拡充し、11月1日～12月1日を「犯罪被害者月間」として一層の気運醸成を図る旨の報告があった。

4 高松北警察署「田町警備派出所」の今後の方針について

県警察から、高松北警察署「田町警備派出所」の今後の方針について説明があった。

5 全国公安委員会連絡会議（代表者会議）の発表資料説明について

県警察から、令和7年11月17日（月）に開催される令和7年度全国公安委員会連絡会議分科会での発表資料「匿名・流動型犯罪グループ対策」について説明があった。

6 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。